

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

# えくてびあん

〈EKUTEBIAN-VOL.3, AUGUST 1986-EKUTEBIAN〉

8



まい あーと・和紙ちぎり絵「たちあおい」by 高橋佐都子

# 多摩川を溯る

のぼ

## 1 日野橋 0km 出発点

大きくゆっくり流れる多摩川の風景は心なごませるものがある。我々の旅はここから始まる。



## 2 羽村取水所 立川より約15km

東京都水道局の羽村取水所。ここから小作上水場、東村山上水場、村山山口貯水池へと水が振り分け送られる。都民の飲料水になる。



玉川神社。取水所すぐ隣りにある。玉川上水が出来た江戸時代に建立。多くの人々から信仰されてきた。



## 3 御岳 立川より約30km

このあたりは水もきれいで景色も良く比較的都会からも近いので、休みの日には家族連れで多くの人々が訪れている。



御岳はカヌーのメッカでもある。大会に出場する選手達もここでよく練習をする。

## 4 一之瀬 立川より約70km

水源地まではもう近い。このあたりは急な渓谷になっている。覗きこむと遙か下には一之瀬川が白く流れているのが見える。



## 5 奥多摩湖 立川より約50km

東京の飲料水を貯える小河内ダム。利根川の水が少ない時にこの水を東京都内の飲料水にまわす。休日には釣いの場として賑う。



## 6 笠取山 立川より約80km



▲登山口にある標識



▲水源林。この木々により鉄砲水を防ぐ。

笠取小屋から2分ほど下った所にある水場。二箇所の水場からは清らかな水が流れ落ちている。冷たく澄んだこの水場の水を取材照は瓶に詰めて持ち帰った。



## 7 丹波山村 立川より約60km

山梨県の山間の村。ここを流れるのは丹波川だ。村の少女達が水遊びに来ていた。



水源地すぐ上にある水神社。



笠取小屋を管理している田辺静さん。



ここが水源地だ。左下の所に一滴ずつ落ちる水場がある。岩の上に水神社のモカ。



▲水源地の下に「みずひ沢」。この地下を水が流れる。水源地からは遠く富士山を眺望出来る。

東京湾までを示す▼  
多摩川138km  
水源地の岩の上に▼

## これが多摩川最初の一滴だ!

息をのんで、したり落ちる一滴を見守る。この日は一滴が落ちるまで数分の時間を要した。日によって量が違う。



● 隊長 / 天野義範(富士見町5丁目)  
先発隊長 / 岩崎 修(富士見町5丁目)

# 多摩川が生れるところを 見たことがありますか?

どんな大きな河も、最初は一滴の水からはじまる——あたりまえのことを目の前にすると、人間、感動するものです。

旅の行き先は案外、近くにあるもの。笠取山への紀行は「緑」と「水」の連続で、小鳥たちの歌声もさわやか。誰かが、「この山にはテープレコーダーが仕掛けてあるのではないか」といつて大笑いになりました。

## 水源 地

笠取小屋から登ること約二十分のところに水源(水干)がある。谷側を眺望すれば、大菩薩峰の先に富士山も見える景色の良い所だ。

山側は岩場になっている。水源地には大きな岩があり、岩の上に水神社と名を刻んだ石がのっている。上に登ると水神社の社がある。

大岩の下が水源だ。周囲には水気がないが、この水源の水溜場にはかすかに水気があり、所々に苔が生えている。こういった水場も信仰の対象になるのか、平たく出張った岩の上には何枚ものコインが置かれていた。

さて水だ。最初はどこにあるのかわからなかった。想像ではもっとたくさん出ているはずだったが、実際にはほとんど干上ってしまっただよな状態だった。日によって出て来る量がちがうらしい。この日はひよっとしたらゼロではないか。と不安がよぎったが、良く見るとかすかに濡れた岩肌の下に小さな滴があるではないか。しかしこれがなかなか落ちない。近くに猪口が置いてあり、この中に入れてお飲みくださいという所だろうか、これ一杯に何時間かかるか見当もつかない。残念ながら水源地の最初の一滴の水の味をみることは出来なかつた。



水場にあったオトコ  
生れたばかりの多摩川の  
"水利き"が出来る。



## 源流水を飲む

水干で飲めなかつた水源の水だったが、笠取小屋下の水場で飲んできた。

二ヶ所の木製の樋から、清冽な水が絶える事なく流れ落ちていく。「冷たい」というのが第一印象だった。やはりソフトな味と言ったら良いのだろうか。消毒薬の入らない天然の水は口に含んだ時の感じが全然ちがう。ついつい飲み過ぎてしまおうほど美味しい。マーケットで良く何処の水と名を付けて売っている水とも少し違うようだ。売るつもりはないが、瓶に詰めて持って帰ることにした。

さて、この水がはたして飲料水として飲めるかどうか。東京都の保健所に問い合わせた。現地で飲んだ分についてはその後身体に異常がないので問題はないようだ。持って帰った分については、採取してから時間がたっているので雑菌が繁殖している可能性がある。三分以上の煮沸すれば飲める。味も変らなかつた。残念ながら保健所の飲違検査というものを受けないと、みなさまにはお分け出来ないそうだ。

**漢字テスト**  
⑦  
空欄に二字押入を試みよ。  
面壁□年  
千秋□歳



## 立川・歴史のひとつ

### お諏訪さま

毎年八月下旬には諏訪神社(柴崎町二丁目)の例大祭が行なわれていきます。土地の子には「お諏訪さま」の呼び名で親しまれるこの神社は、平安時代初期にあたる弘仁二(八一一)年に信仰の諏訪大社より勧請されたと伝えられています。柴崎町四丁目には小規模ながらも古墳が二基現存、二基とも古墳時代(三世紀末一七・八世紀)の後期のものと考えられています。また同じ段丘上に石器時代の遺跡もあり、多摩川からこの諏訪神社周辺にかけては、歴史のあけぼのの時代から人が住みついて村落をなし、平安初期には神社を建てただけの力をたくわえた人々がいた事実を示しています。



お諏訪さまは千二百年近くにもわたってこの土地の人々の心の拠り所となってきましたが、天正年間(約四百年前)に全焼、現在の社殿は江戸時代初期の寛文一〇(一七七〇)年に、もとの場所(今の諏訪公園)から百メートル南に再建されました。市内で最も古い木造建築のひとつである本殿は、「一間社流造正面軒破風付こけら葺」という形式で、市の有形文化財にな

## 表紙は語る

華やかさのなかにもどことなく落ちついた上品さがあるのは、素材が和紙だからか。表紙の作品は三年ほど前の東京都勤労者美術展(工芸の部)に入選した高橋佐都子さんのものだ。

なんとかその美しさを自分の手で表現したいと思ひ佐藤せつ先生(佐藤せつ和紙ちぎり絵主宰)のもとで始めた。学校で特に絵を勉強したわけではなく、自ら称すように「基本なし」で始めたが花に対する愛情から自然と素晴らしい作品の数々が生まれている。特に野草が好きだと言う。人知れずには咲く可憐な花々をモチーフにすることが多い。表紙の作品はそんな意味では少し異質かもしれないが実はこの「たちあおい」は高橋さんの勤め先近くに咲いていたものをモチーフにした。通りがかりに見る花をいつか作品にしたところにも高橋さんの花に対するやさしさが表れている。

誰にでも出来、それでいて和紙の貼り方ひとつで作品の表情に個性が出るのがちぎり絵の魅力だ。

## 真如苑だより

夏本番です。あまりの暑さに、ついつい冷たいものなど飲み過ぎてはいませんか。今月も真如苑では皆さまを心からお迎えいたします。涼しい風がこころの中を通っていきます。お気軽にどうぞ。

日時 8月19日(火) 午後2時~4時  
●御本尊、真如宝物館をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。  
●立川市民(成人)に限らせて頂きます。  
●お申し込みは「えくてびあん」コンパニオン(本誌を手渡してくれた人)へ、どうぞ。

**立川クイズ**  
中央線の前身、甲武鉄道が明治22年に立川と新宿間に開通したことは5月号の立川クイズで取りあげましたが、では立川、新宿間の運賃はいくらだったでしょうか。  
①11銭 ②22銭 ③33銭  
△因に理髪料金が当時5銭でした。(7月号の答え)立川市内の交番は(1)羽衣町(2)錦町(3)立川駅南口(4)日野橋(5)富士見町(6)富士塚(7)立川駅北口(8)南砂川(9)砂川八幡(10)若葉町(11)砂川四番(12)砂川一番と全部で12箇所にあります。 答えは③

**工房から**  
多摩水源紀行はいかがでしたでしょうか。物事の始まりには何かドラマを感じます。朝早く出れば日帰りが可能なコースです。ピクニックがたてつけられているように、オススメです。●自然水ブームなのかマーケットでも良く見かけます。確かにおいしいかもしれないけれど、やっぱり、現地で飲むのが一番。空気がちがうと水の味まで変わるのでしょうか。●7月号で「歴代のミス立川」をご存知ですか?という記事をお載せしました。おかげ様で何人かの方の消息がわかりました。がやはり初期の頃の方々がなかなかわかりません。ご存知の方はぜひ一報ください。もちろんご本人はぜひ一報一報ください。●白服に 月光 絡みて、えくてびあん。

**夏休み子供映画会**  
7月30日(水)  
午後10時半  
午後3時  
アタッシュン  
ごんぎつね 13巻2本  
多摩川図書館にて  
(25)6905

**近くで安く良い演劇を**  
三多摩演劇会  
金銭の都合は、いつでも作品をお取り、近くの劇場へ。  
現在はいくつかの劇場で観覧しています。  
当日の料金も半額です。  
公演日時  
大田区 川崎駅三丁目  
の「水鏡館」 9月27日  
Mobex  
23-5031

「'86ミス立川コンテスト」  
が7月13日に立川商工会  
議所ホールで開催された。  
今年の出場は36名と昨年  
より少し少なかったが、出場  
者はお揃いになり、審査  
の厳しさも甲乙つけがたか  
ったようだ。

